



## 【地域を支える皆さまの力に感謝】

自治会・各種団体総会を通じて感じたこと

4月から5月にかけて、営に至るまで、幅広い分地元の自治会や各種団体、野でご尽力いただいていることに、改めて深い敬意と感謝を申し上げます。実はこうした活動は、本来行政が担うべき部分も含まれています。地域の皆さまが最前線で支えてくださっているからこそ、日々の暮らしが守られていると実感しています。私は、そうした現場の声を丁寧に聞き上げ、行政へとつなぎ、課題の解決に結びつけていくことが自らの一丁目一番地の役割と考えています。

県議としての責務を果たすと同時に、地域から選ばれた一人として、身近な課題に向き合い続けることを何より大切にしたいです。今後も小さな声に耳を傾け、皆さまとともに安心して暮らせる地域づくりに全力で取り組めます。

## 【議員バッジ 見直しの時代へ】

4月、全国紙に、議員バッジに関する記事が掲載されました。

現在、多くの議員バッジには一定以上の純度の金が使用されていますが、近年の金価格の高騰を受け、銀やメッキなど、より安価な素材への見直しを検討する動きが広がっています。

熊本県においても、来春の統一地方選挙に向けて使用のあり方を見直す予定としています。

本来、議員バッジは議場への通行証としての役割を担うものであり、その機能が第一義であるべきものです。しかし現実には、日常的に着用されるケースも多く、象徴的な意味合いが強くなっている側面も否めません。因みに私は、議会に出席する際以外はバッジを着用せず、普段はスーツやジャケットにお気



## 金の代わりに 銀製やメッキ製へ 見直しを検討



に入りのピンバッジを身に付けています。

また、熊本県では議員バッジは貸与制（貸与とは返却することを前提に、備品や教材、資料などを一時的に貸し出すこと）であり、退任時には返還することが原則です。私自身、現在3期目ですが、過去2期分のバッジは既に議会事務局へ返還しています。

今後はコスト意識と制度本来の趣旨の双方を踏まえ、適切な運用のあり方が求められると感じています。

【華やかな舞台に込められた想い】

レビューチーム風第32回公演

4月29日、妻とともに「レビューチーム風」の第32回公演「レビュー・エレガンス2026」を鑑賞しました。会場のくまもと森都心プラザホールには多くの観客が訪れ、開演前から期待感に包まれていました。

公演は音楽やダンス、歌が一体となった華やかなレビューショーで、第一部ではゲストとのコラボ、第二部では多彩な演目が展開され、終始引き込まれる内容でした。特に印象的だったのは、舞台上立つ皆さんのいきいきとした表情と、観る人を楽しませたいという思いがひしひしと伝わってきた点です。

「チーム風」の皆さんにはかつて私のイベントでも披露していただいたこともありませう。

中でも長年親しくさせていたただいているメンバーの一人のHさんは、本業はもとより幾つものお顔を持たれ、それぞれの立場で真摯で情熱的な姿勢が今回の公演でもひしひしと感じました。

「チーム風」は定期公演だけでなく、地域や施設でのボランティア

ア公演にも積極的に取り組まれており、その積み重ねが今回の舞台にも表れていましたように思います。華やかな舞台の裏にある日々の努力と地域への思いに触れ、心から感動するとともに、文化芸術が持つ力の大きさを改めて実感したひと時でした。『レビューチーム風』のさらなるご活躍を心より期待しています。



皆さんの声とともに県政を動かす

6月号ウェブアンケートのお願い

この誌面は、皆さんの声に支えられています。QRコードから、今月号の率直なご意見や感じたことをご聞かせください。現場で動き出し、県民の安心と安全につながるよう、引き続き責任を持って取り組んでまいります。



アンケートQRコード スマホで読み取ってください

- ①「市町村の人手不足とこれからの行政のあり方」  
人手不足が進む中で、地域の行政をどう守るのかを問います。
- ②「給食費・高校授業料の無償化、その財源はどうなっているのか」  
無償化の裏側にある「財源のしくみ」と国と地方の関係をわかりやすくお伝えします。
- ③「県の“いざという時の備え”は十分か」  
将来の不安に備えるため、県のお金の使い方と『貯え』のあり方を問います
- ④「デジタル教科書で子どもの学びはどう変わる？」  
子どもの学びや健康への影響を踏まえ、これからの教育のあり方を考えます
- ⑤「新しいアリーナは本当に必要？熊本のこれからの考えます」  
アリーナ整備の目的や効果、そして将来の負担まで、わかりやすく考えます。

※質問項目は変更することがあります

皆さんの暮らしに直結する問題です。お出かけいただくか、右のQRコードを読み取って視聴してください！



熊本県議会ホームページ (インターネット中継から 質問の模様をご覧ください)

【一般質問に臨みます】

6月定例県議会において一般質問をする予定です。県民の皆さまの暮らしに直結する課題について、現場の声を踏まえながら県の考えを質してまいります。

日時・6月15日(月) 10時〜(予定)

